

令和7年度 第1回
山形市総合学習センター運営協議会

令和7年5月28日(水)
15:30~1

6:45

会場:多目的研修室

I 出席者

【委員】津留俊介委員、関口雄一委員、戸田雅大委員、横倉晋也委員、
阿部慶子委員、古原靖子委員、高橋 修委員、渡辺佐和子委員
芦野 均委員(計9名)

【事務局】東海林総合学習センター所長
山川総合学習センター副所長(兼)まなび支援係長
鈴木総合学習センター指導主事
白田総合学習センター指導主事
田井地総合学習センター指導主事
志布総合学習センター指導主事
小川総合学習センター指導主事
伊藤総合学習センター指導主事 (計8名)

II 欠席者 西村仁美委員(1名)

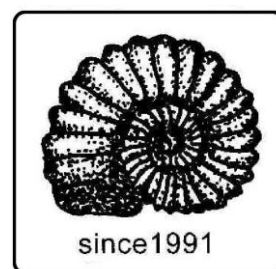
III 傍観者 0名

IV 会議

I 開 会

2 所長あいさつ

3 運営協議会委員の自己紹介と職員紹介



4 運営協議会長あいさつ

5 協議

(I) 令和6年度事業報告… 資料をもとに、事務局担当者から報告。

(委員) 風の通級人数について、人数減ということだが、見学した生徒も含まれているのか。

(事務局) 通級している人数で、見学した生徒は含めていない。

(委員) 人数が減っているということだが、見学者自体も減っているのか。

(事務局) 見学者の数は確認が取れていないが、不登校の数が令和5年度から令和6

年度にかけて山形市として若干の減少があった。風は、学校復帰を目指しているが、小学校から中学校へ行く時の学校復帰が何名かおり、そこから風をまた利用するという児童がいなかったことも減少数の1つの理由であると捉えている。

- (委員) 幼児ことばの相談について、相談の中身についてはどのようなものが多いのか。
- (事務局) 5歳児健診が始まったことから、言葉がなかなか出ない幼児の相談も増えてきた。構音の誤りで通っている幼児も多い。
- (委員) ICT教育支援員の12名は先生ではないのか。
- (事務局) 専門の業者の方に委託している。
- (委員) おもしろ実験教室は、トータル7回なのか。以前より減っているということなのか。
- (事務局) 学習センターと大学で半分ずつ、トータルで7回開催している。以前は8回開催していた。
- (委員) 情報関連事業について、学校のホームページの手伝いというのは、更新のやり方をサポートしているということか。
- (事務局) 記事をあげたい、デザインを変えたい、という要望があればサポートしている。
- (委員) 各学校のホームページを見ると、こちらが得たい情報がなかなか得られないホームページがあると感じる。学校の独自性は生かさなければいけないと思うが、最低ラインとして、校長名、学校の教育方針、沿革、住所、電話番号など、最低限掲載する内容を学校に伝えてはどうか。
- (事務局) 今後、検討する。
- (委員) 理科教育センター関連事業報告の中に、小学校の理科主任研修で気体をつくる実験を行ったとあるが、どのような内容のものか。
- (事務局) 二酸化炭素と酸素をつくる実験を行った。現在の教科書では実際つくるまでは載っていないが、以前使用していた薬品が使用しないまま残っていることが多いため、こんな使い方もできるということを提示した。
- (委員) 実験で爆発事故があった学校があったので、内容にびっくりしたが違う内容とわかった。
- (委員) 母親委員会では、市内の小中学校の母親と情報共有をしている。情報モラルへの興味関心が高く危機感もある方が多い。どのようなルートでお願いをすると情報モラルに対する研修を受けられるのか。
- (事務局) ICT教育推進係に直接連絡いただいている。PTA主催のものに関しては、校長、教頭を通して依頼してもらっている。

(2) 令和7年度事業計画… 資料をもとに、事務局担当者から報告。

- (委員) この会の中で性教育に関して全然話題にならないことが気になっている。牛乳は子牛を産まないと出ない。このような話をすると、子供も保護者もびっくりする。性教育の専門家はここにいるのか。性教育をどこかできちんと担う場所が必要だと思う。
- (事務局) 性教育ということでは、学習センターにはない。いのちの教育の担当は学校教育課にあるので、連携を図りながら研修などを検討していきたい。
- (委員) 日本は性教育が遅れていると思う。早い段階で教育する必要があると思う。
- (委員) 中学校のいのちの教育の現状としては、各校で3年生を対象にして、産婦人科医や助産師などを呼んで男女一緒に指導を行っている。保健体育などを含めて指導を進めている。
- (委員) 小学校のいのちの教育の現状としては、保健体育で5年生から指導をしている。自分の体を大事にするという観点から、プライベートゾーン、パーソナルスペースなどについて指導をしている。SNSなどで子供たちが情報を得る機会が多いので、小学校3年生から保護者も交えての指導も進めている。

- (委員) 特に、不登校、性教育、インターネットについて、母親の関心が高いと感じている。また、親が子供にどのように伝えるか、ということに関心をもっている方も多いと感じる。
- (委員) お母さん向けの講座を理科センターで開くということも考えられる。
- (事務局) 学校教育課と連携を図りながら研究していきたい。
- (委員) 特別支援教育相談員について、今年度から人数が増えたという話があったが、令和4年度に2名増員してその時には70件くらい相談が増えている。今後も対処するケースが増えていくと予想されるが、必要な機材や相談する場所が足りなくなることはないか。
- (事務局) 最新のものを昨年度購入したり、足りない部分に関しては県教育センターより借用したりしながら対応している。

6 その他

7 連絡

- ・次回の協議会について

令和8年2月3日(火) 午後3時30分～午後4時45分

8 閉 会